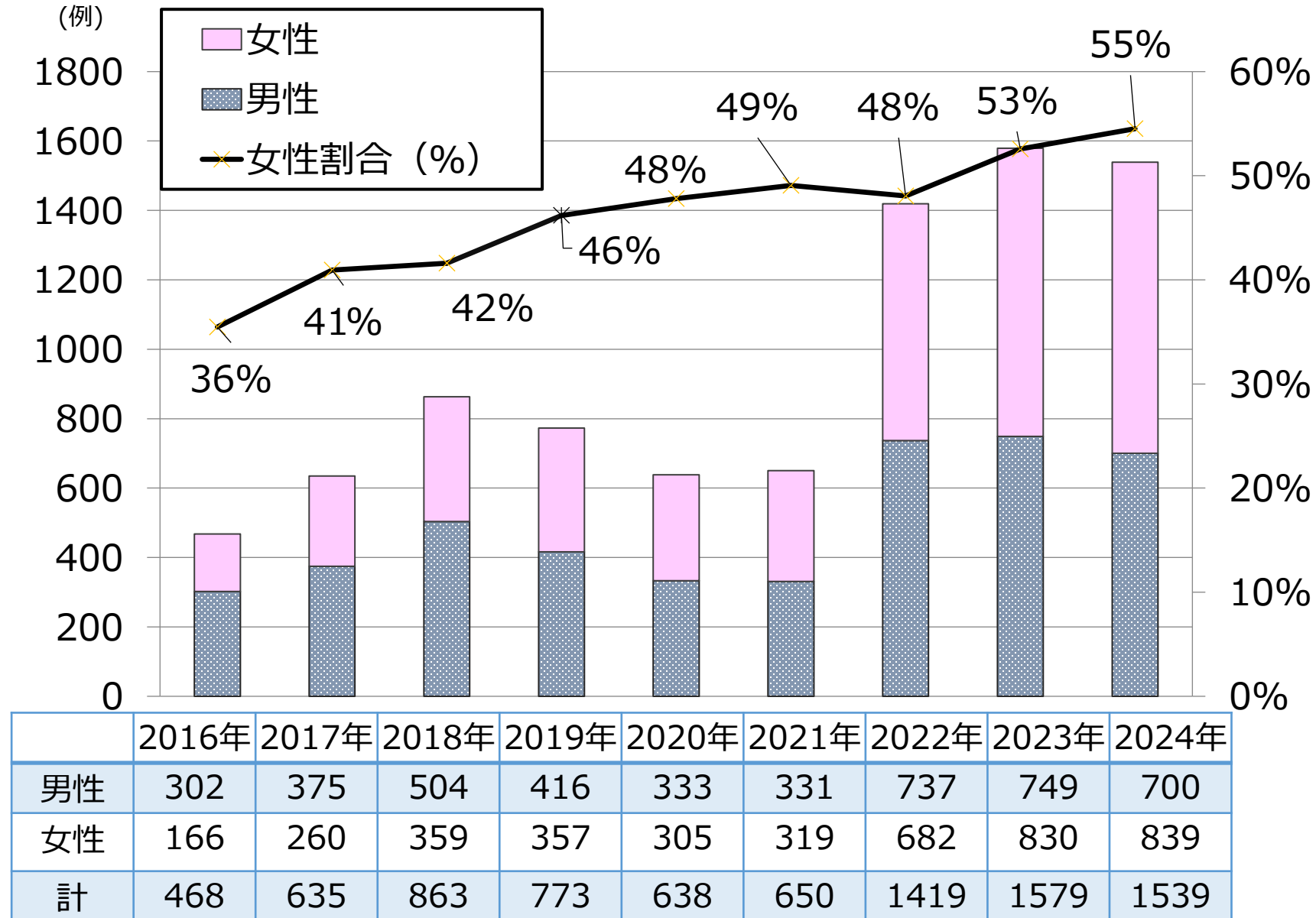


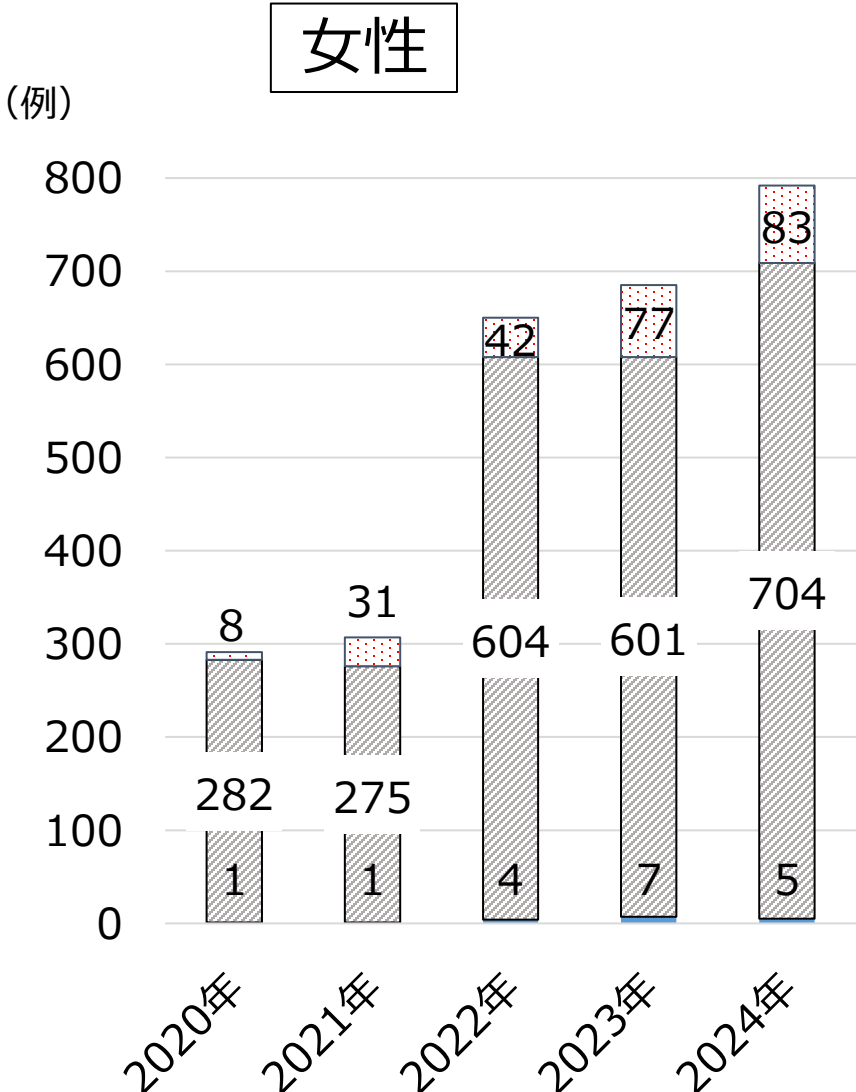
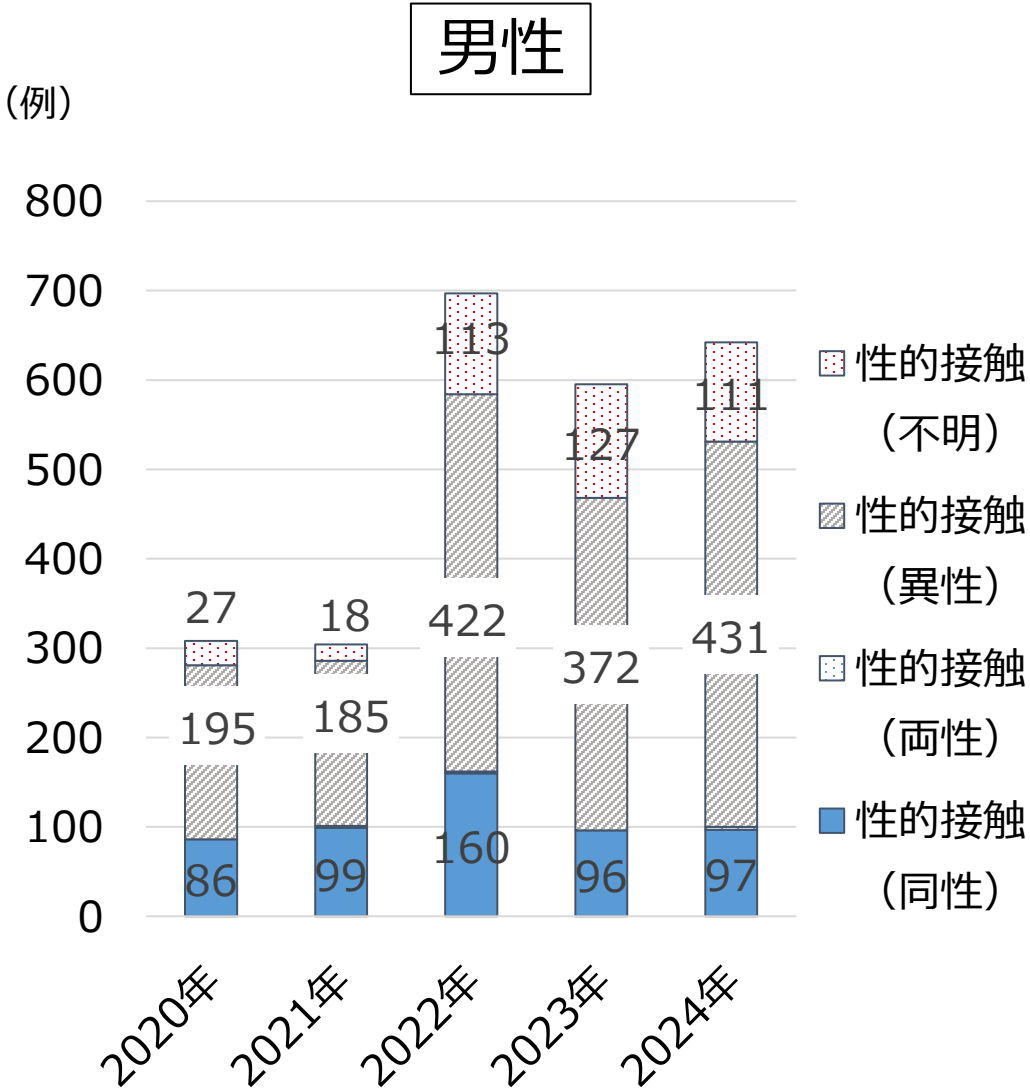
梅毒患者数の報告（発生動向）

大阪市保健所感染症対策課

梅毒 男女別届出数推移（大阪市）



感染経路別届出数（2020-2024年）（性的接触のみ）

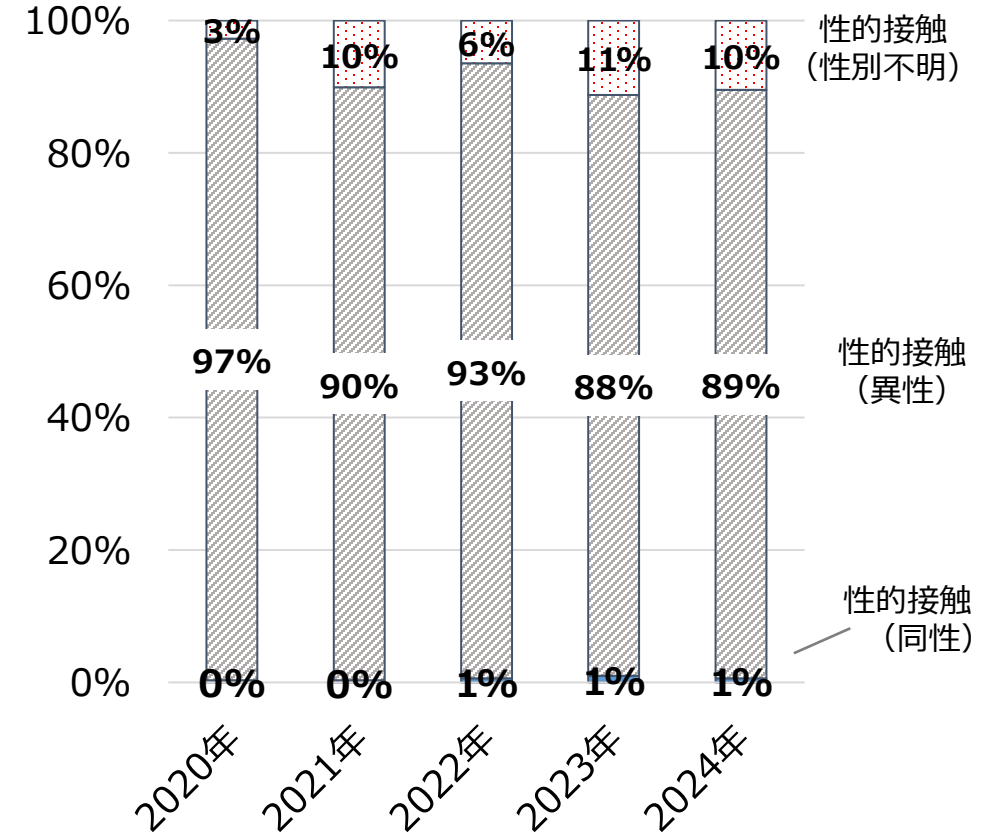
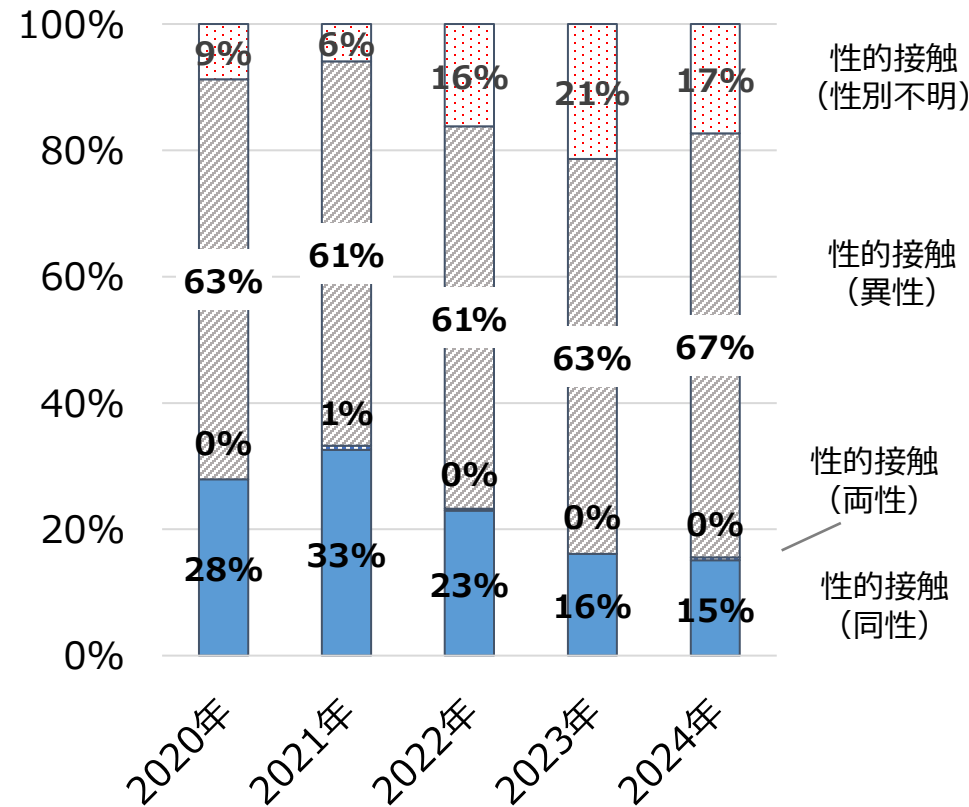


感染経路別届出割合推移（2020-2024年）（性的接触のみ）

男性

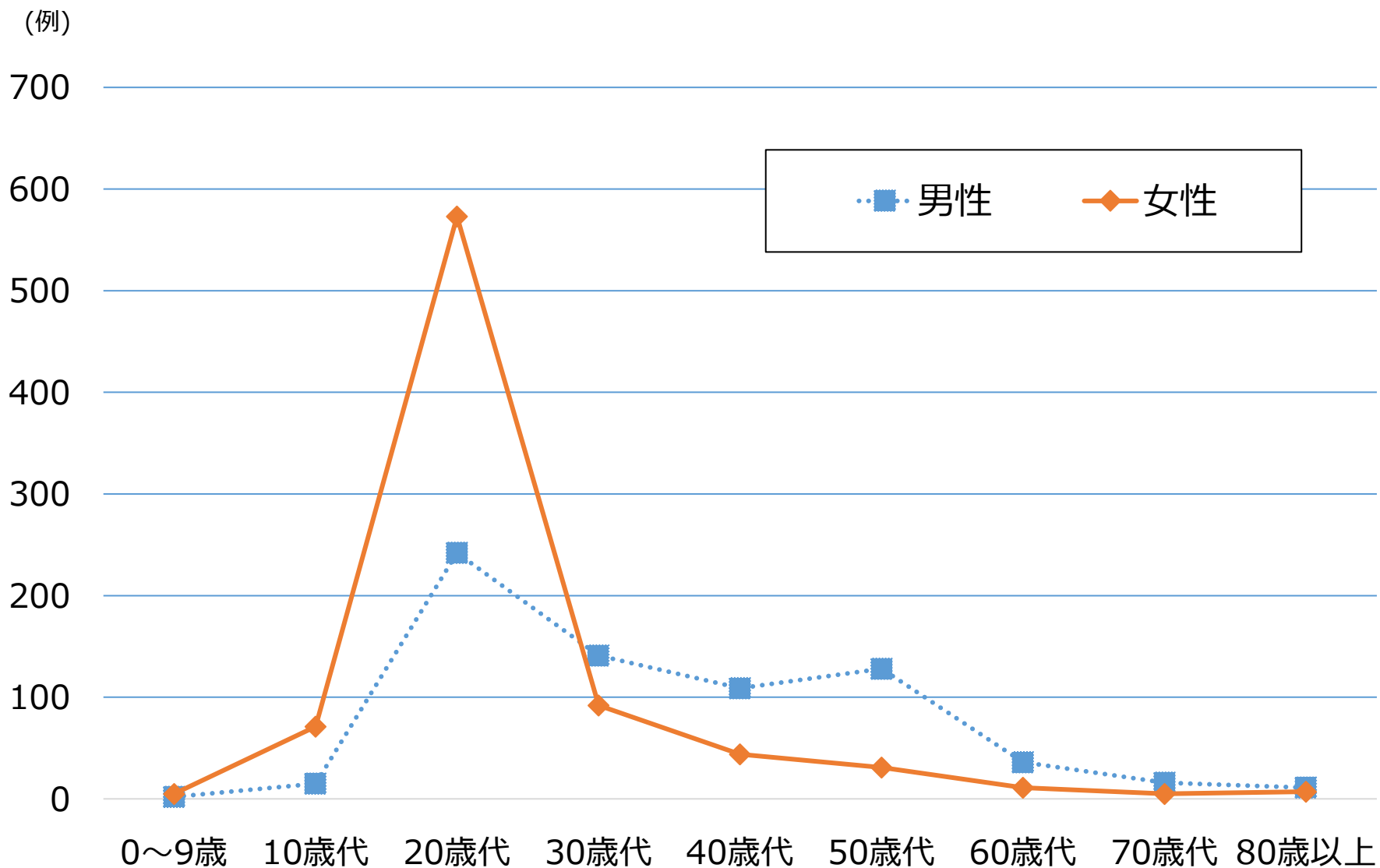
女性

■ 性的接触（同性） ■ 性的接触（両性） ■ 性的接触（異性） ■ 性的接触（不明）

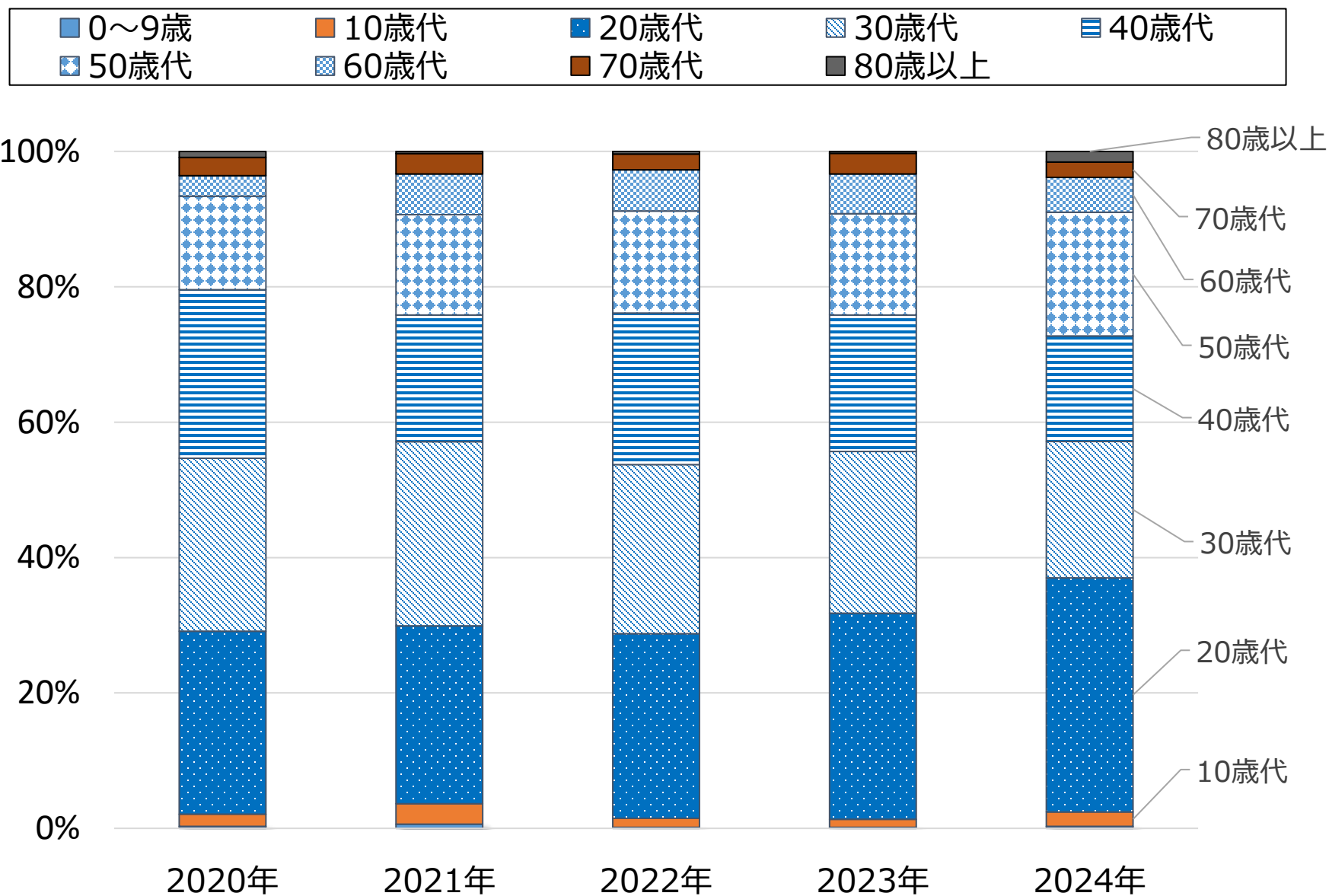


2024年 男女別年齢別届出数

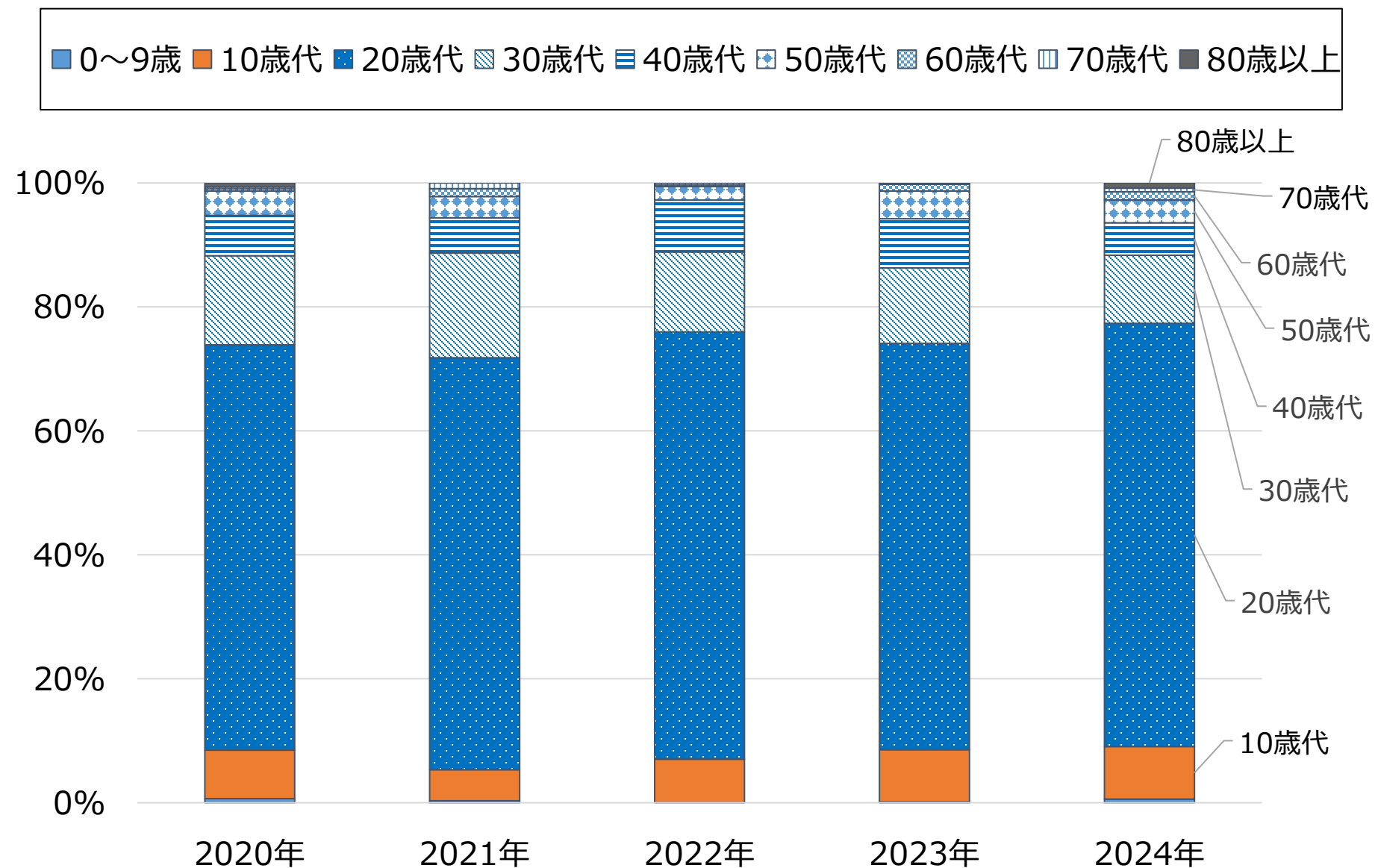
(n=1539)



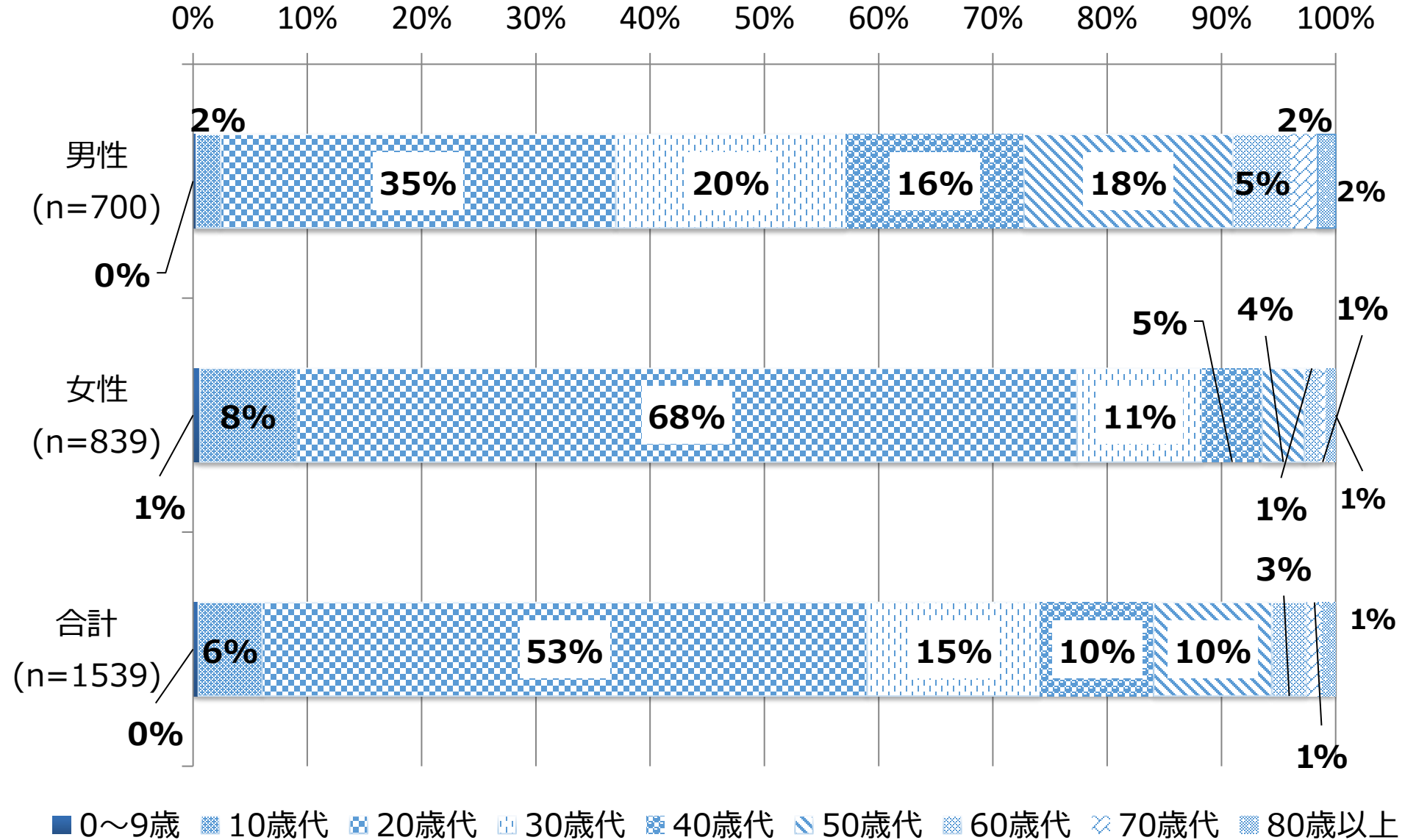
年代別届出割合推移（男性）



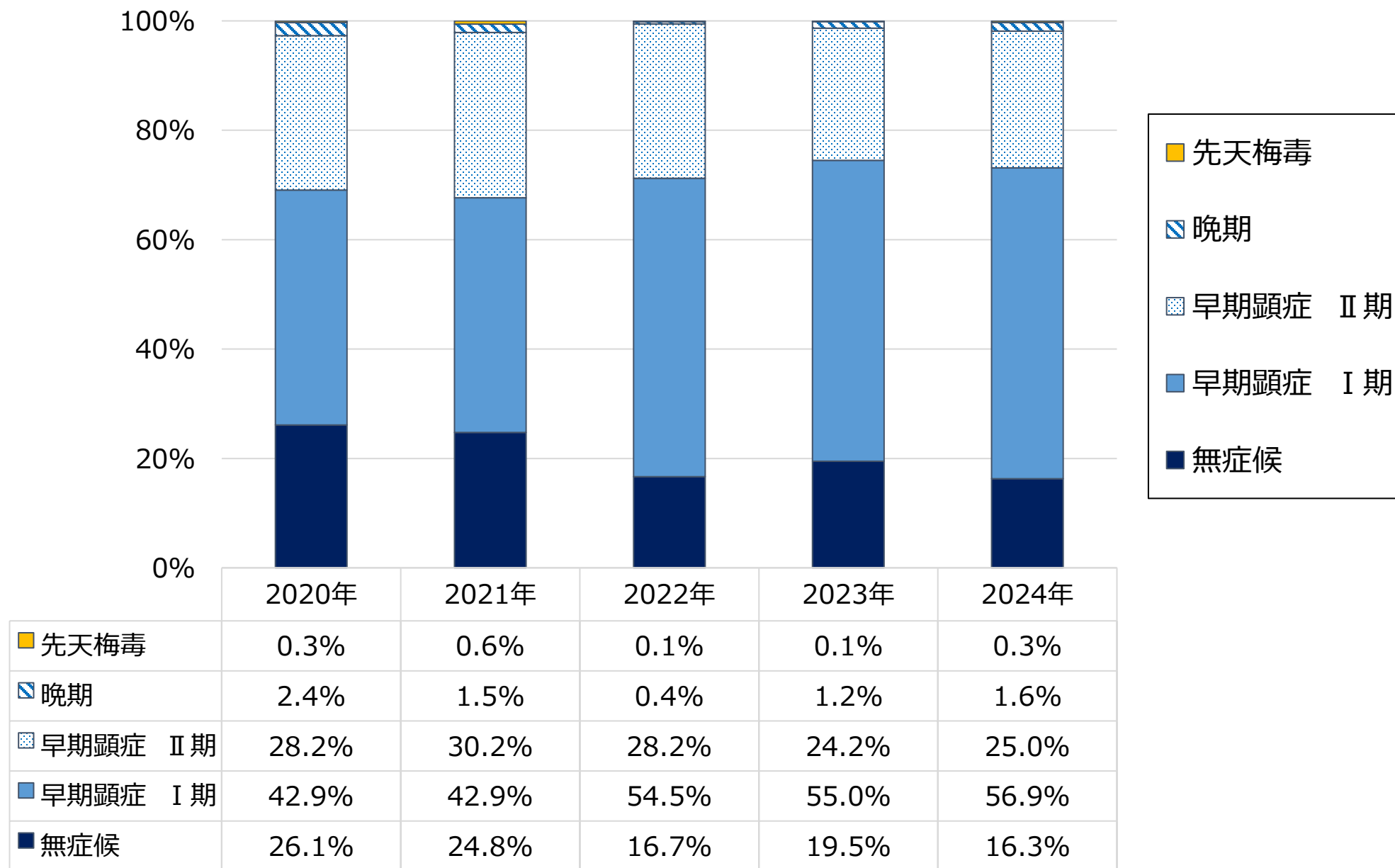
年代別届出割合推移（女性）



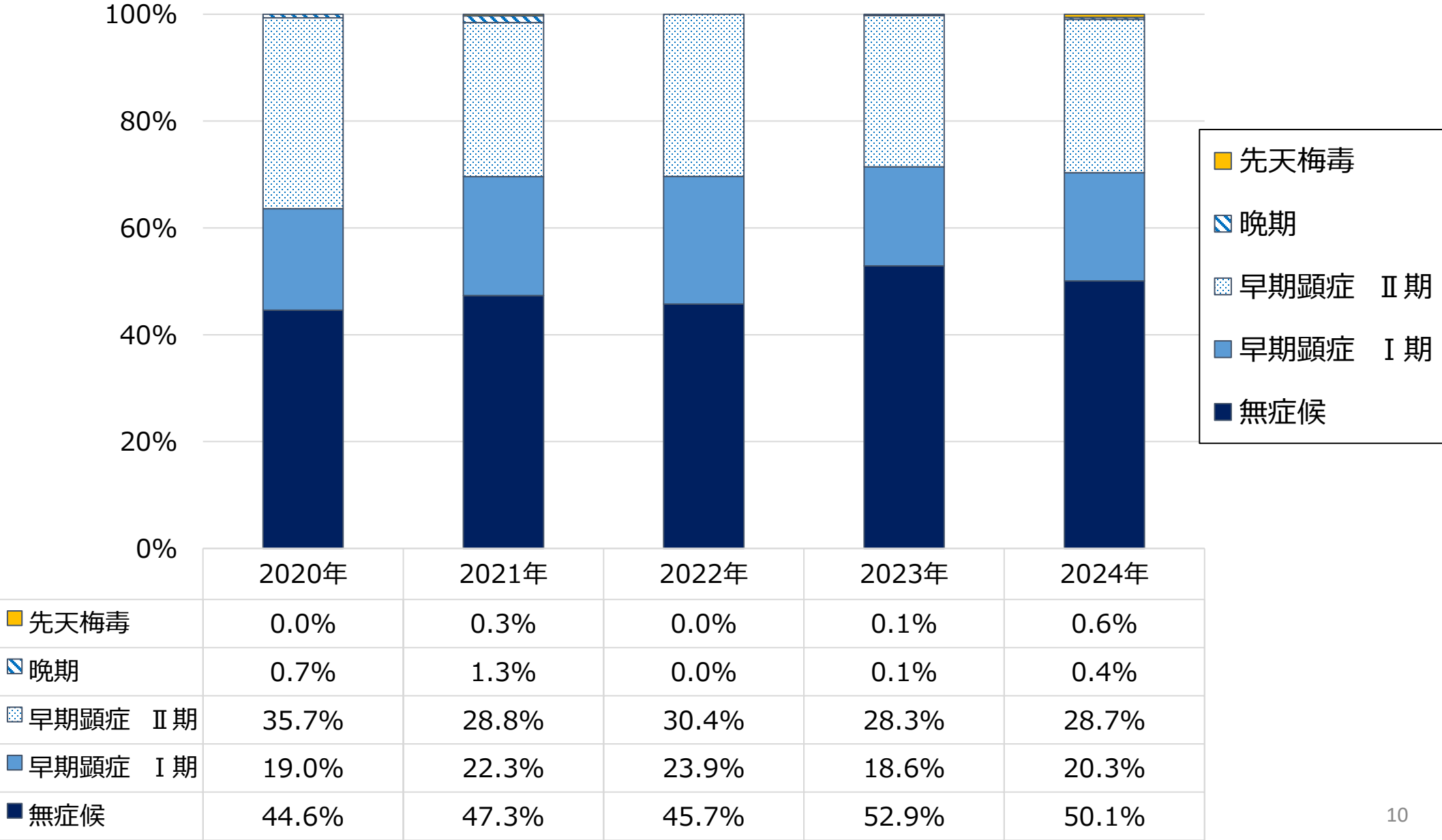
2024年 男女別年代別届出割合



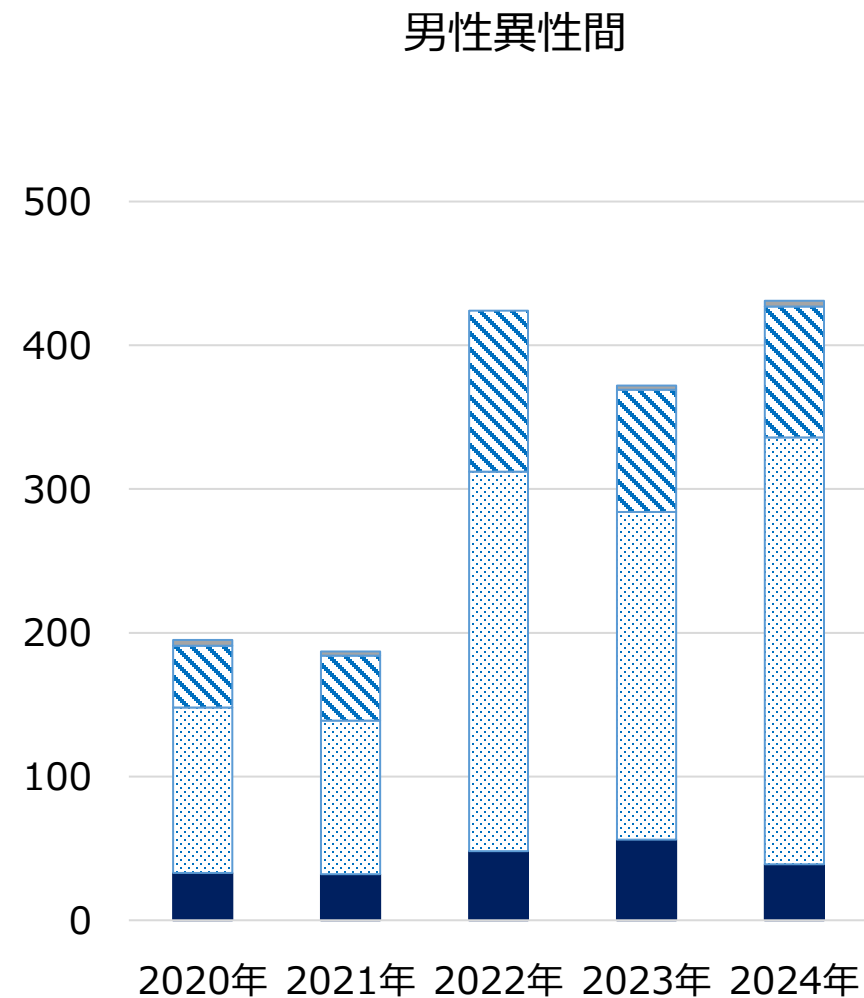
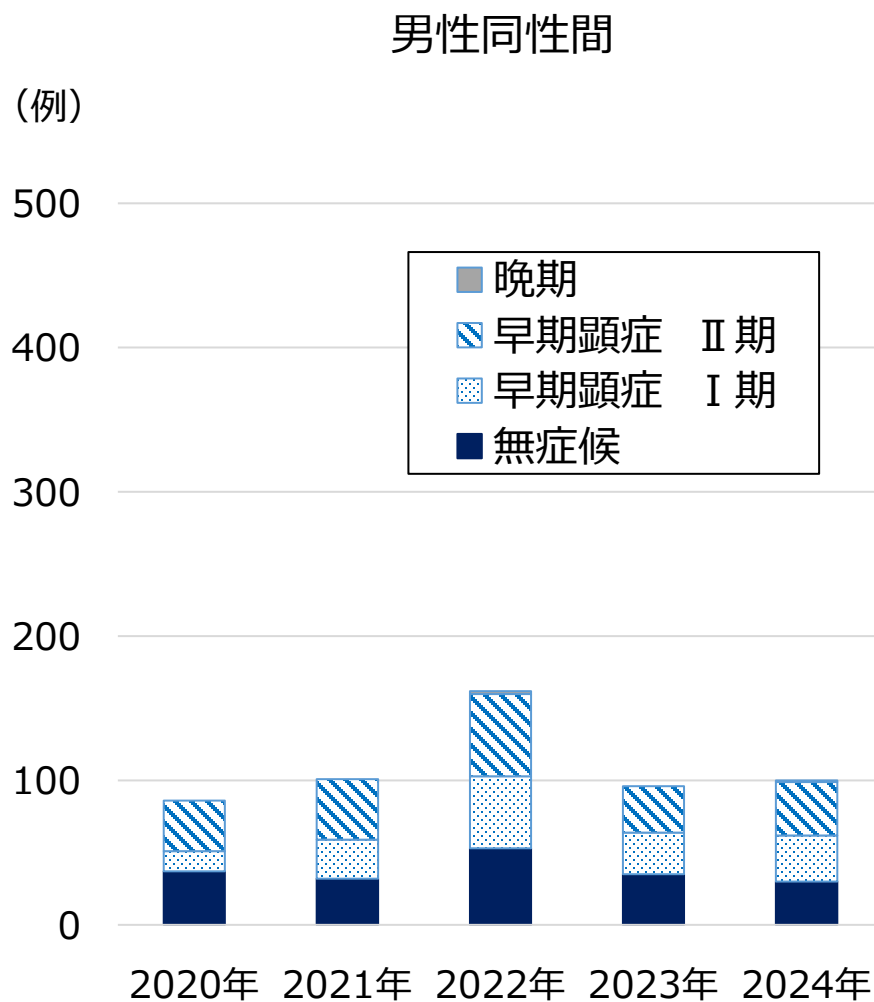
病期別届出割合推移（男性）



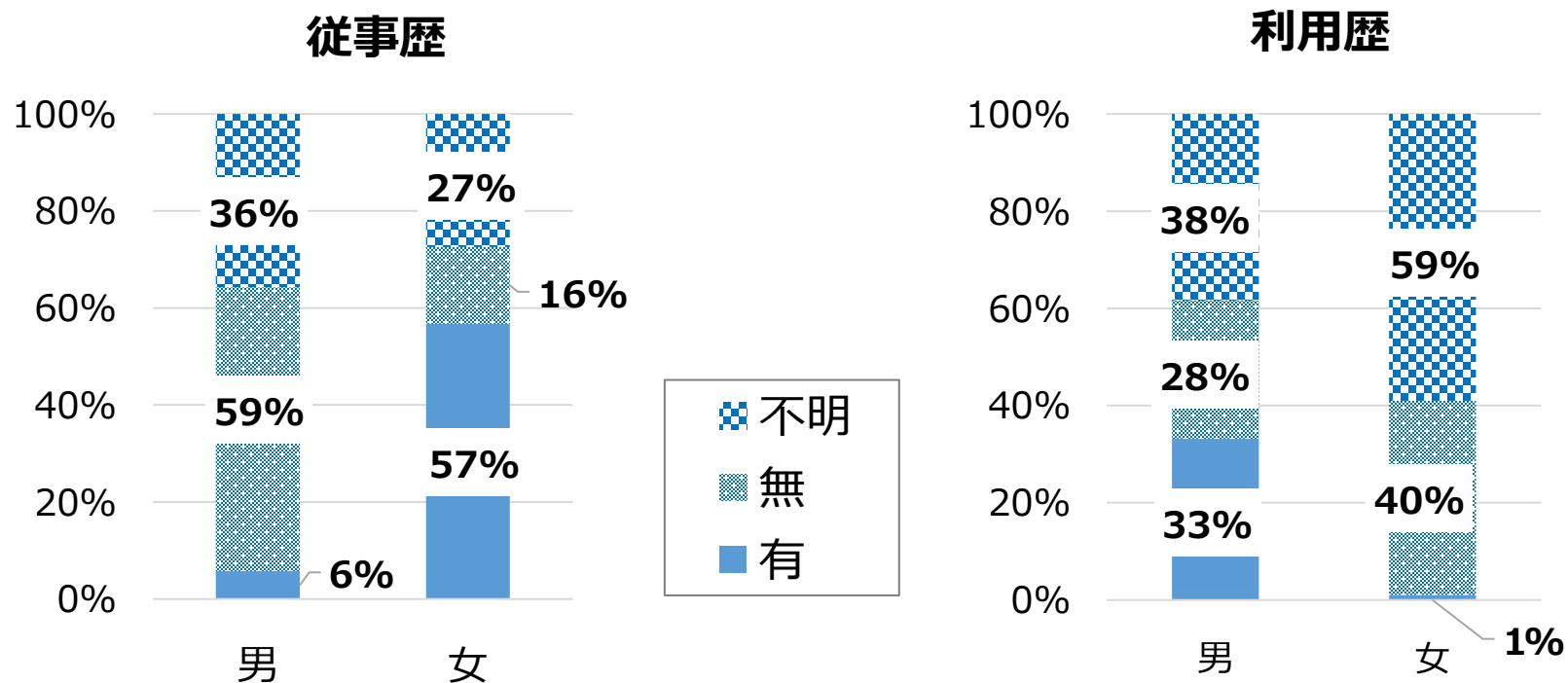
病期別届出割合推移（女性）



感染経路別にみた病期別届出数の推移（男性）



【性風俗産業】（直近6ヶ月以内の従事歴・利用歴） 2024年



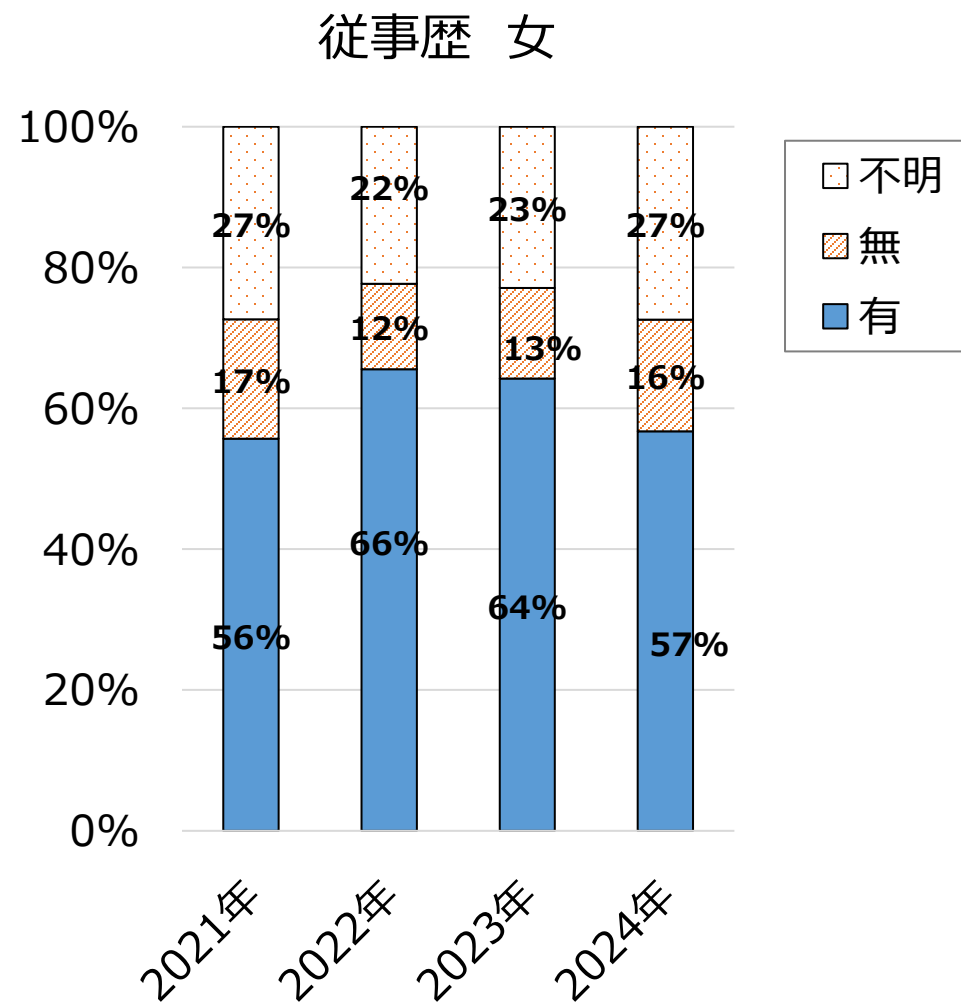
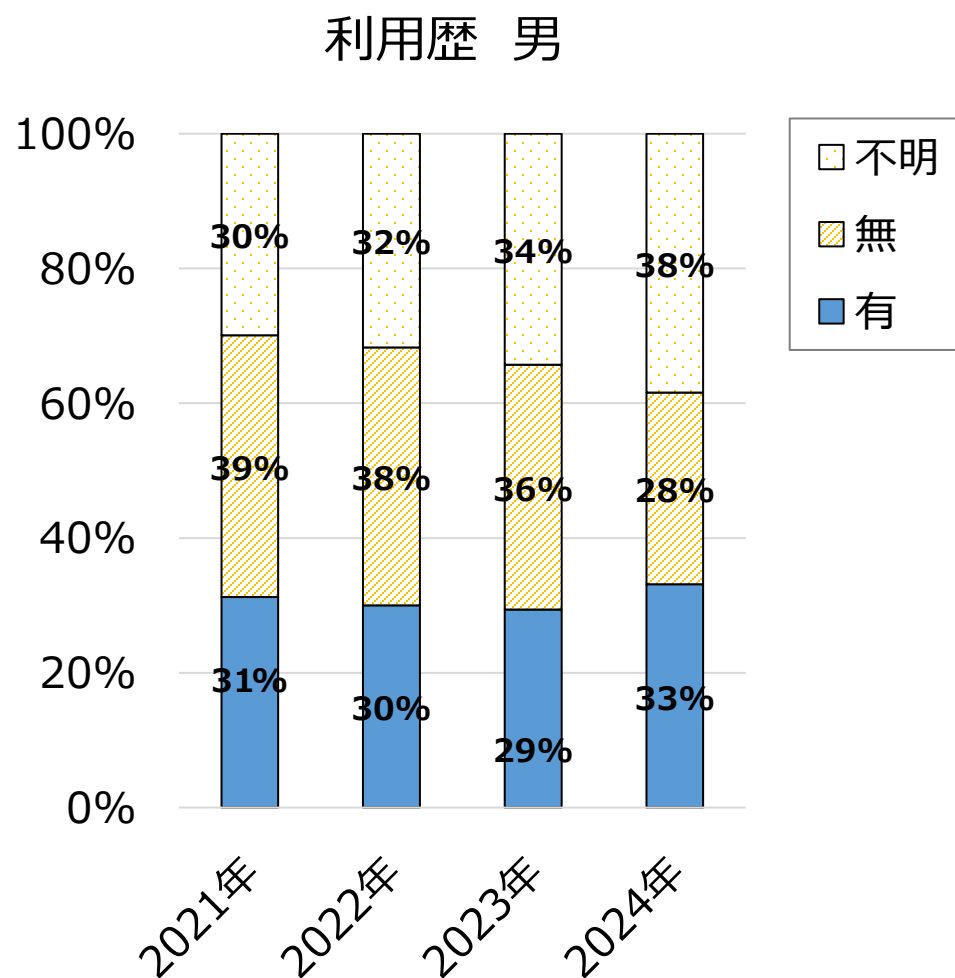
「従事歴あり」は女性の57%

従事歴 (届出数)	有	無	不明
男	40	410	250
女	476	133	230

「利用歴あり」は男性の33%

利用歴 (届出数)	有	無	不明
男	232	199	269
女	9	335	495

【性風俗産業】（直近6ヶ月以内の従事歴・利用歴） 男性・利用歴と女性・従事歴 報告数推移

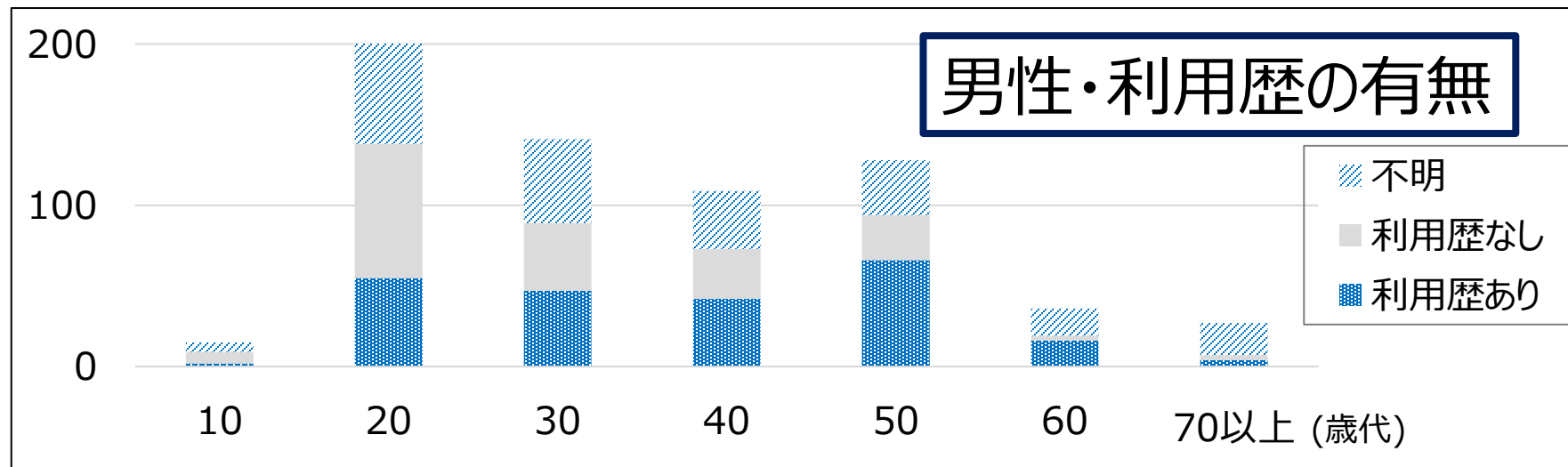


【性風俗産業】（直近6ヶ月以内の利用歴・従事歴）

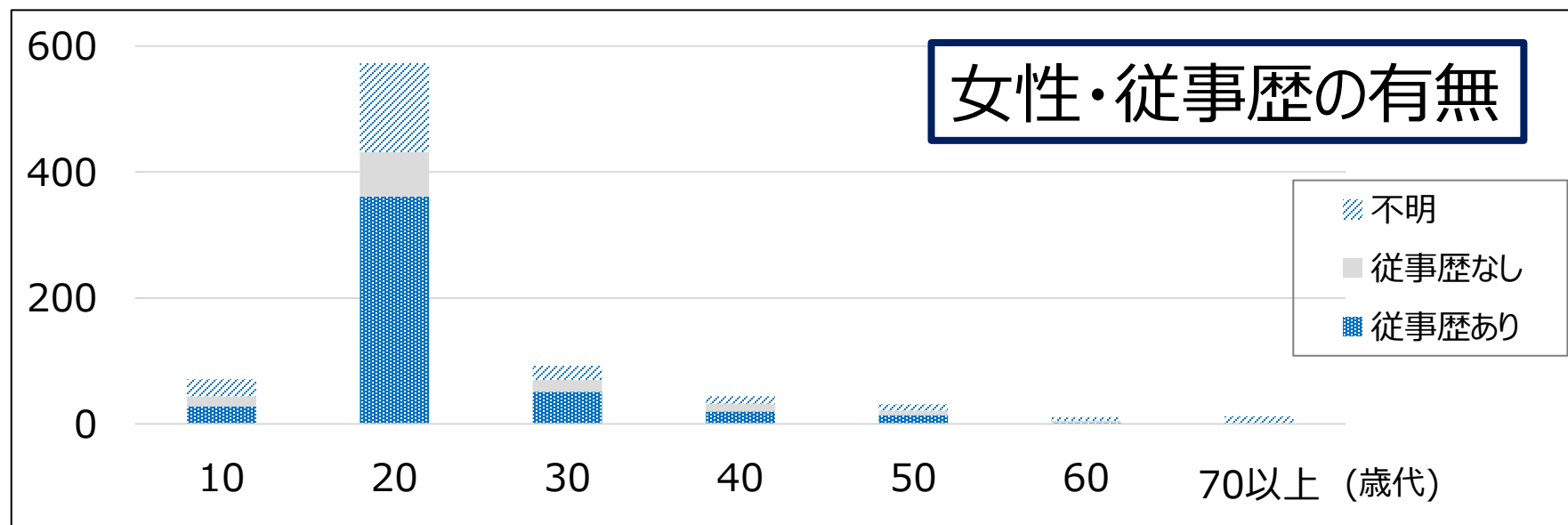
2024年

男性・利用歴と女性・従事歴 年齢階級別比較

(例)

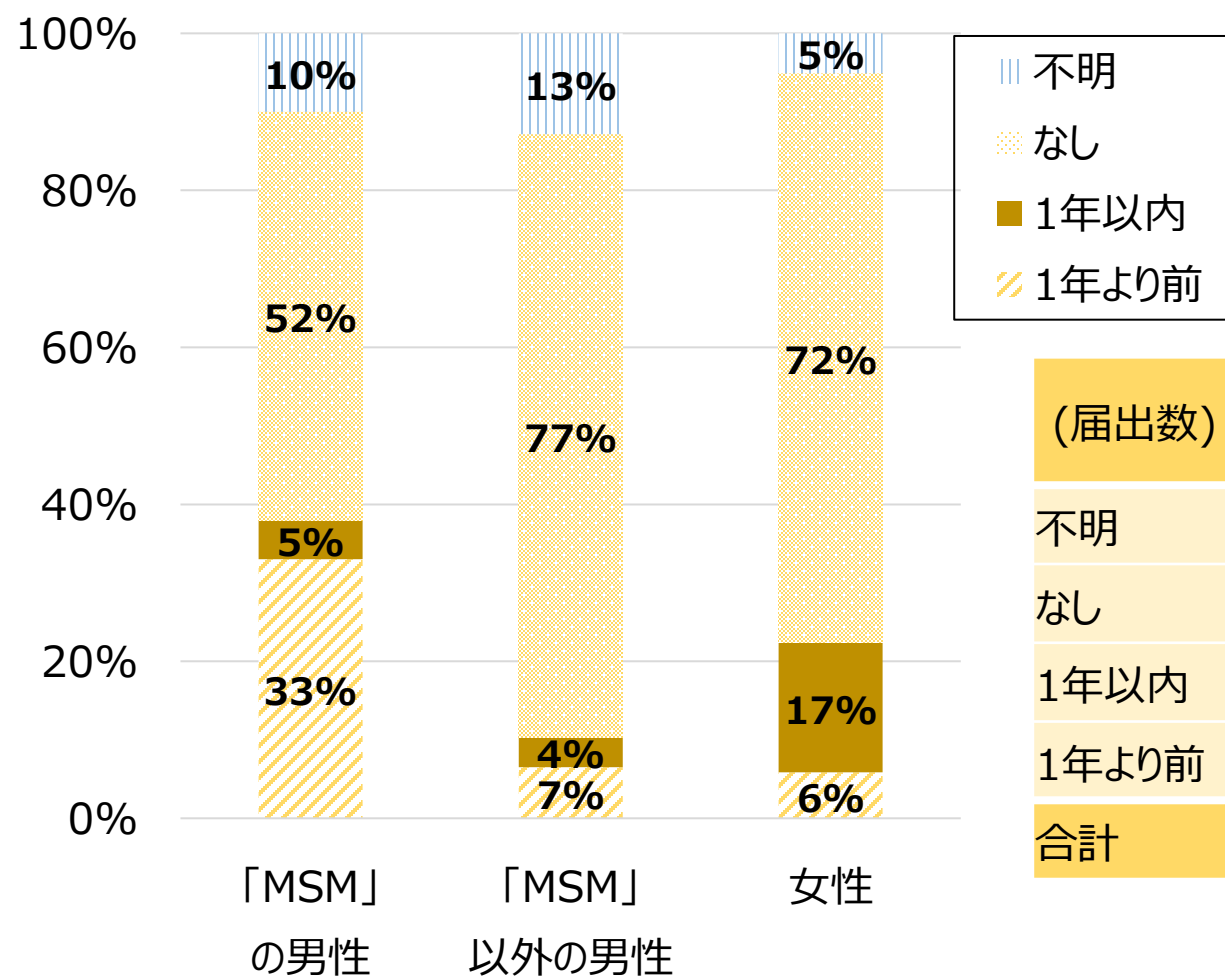


(例)



過去の梅毒治療歴

2024年 (n=1539)

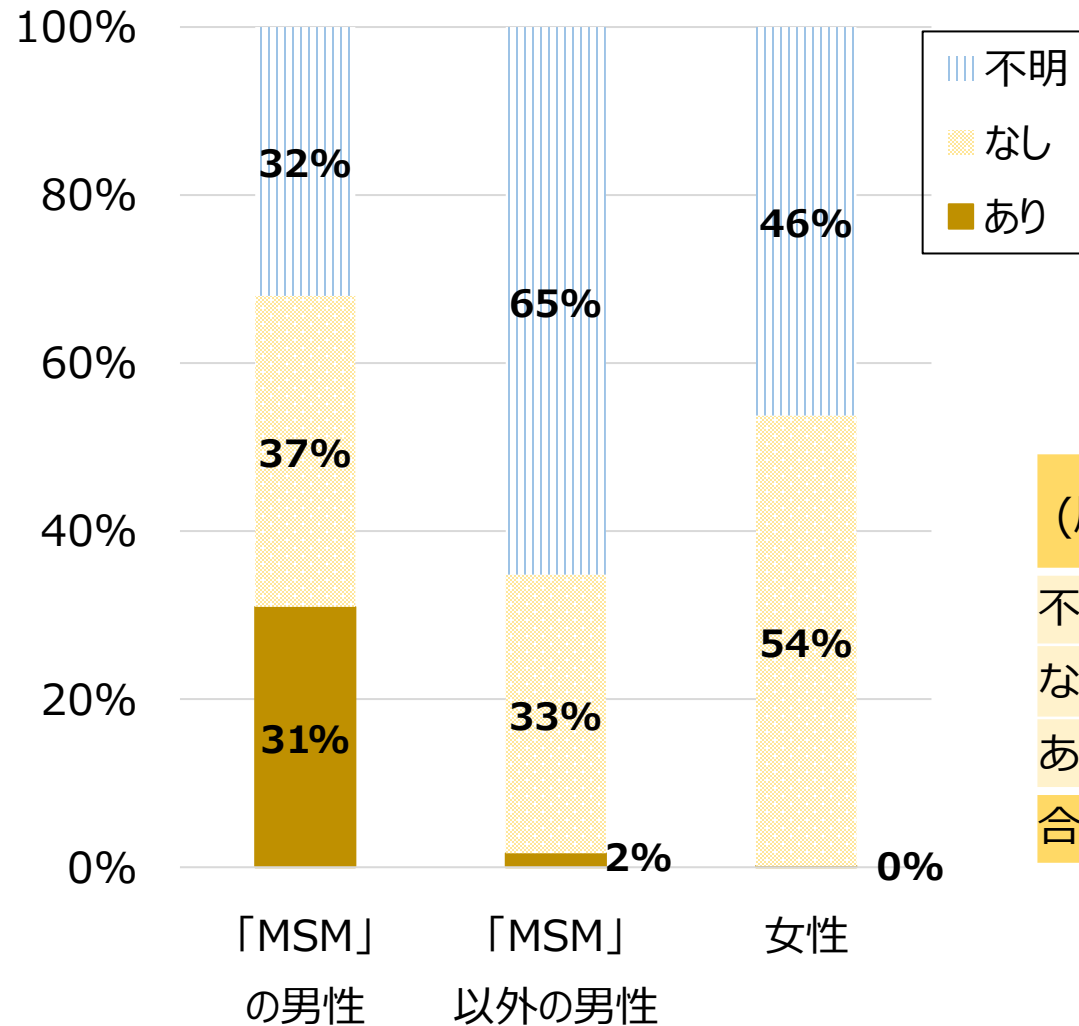


(届出数)	「MSM」 の男性	「MSM」 以外の男性	女性
不明	10	77	43
なし	52	461	608
1年以内	5	23	139
1年より前	33	39	49
合計	100	600	839

※MSM：感染原因・感染経路において男性同性間の性的接触のもの

HIV感染症合併

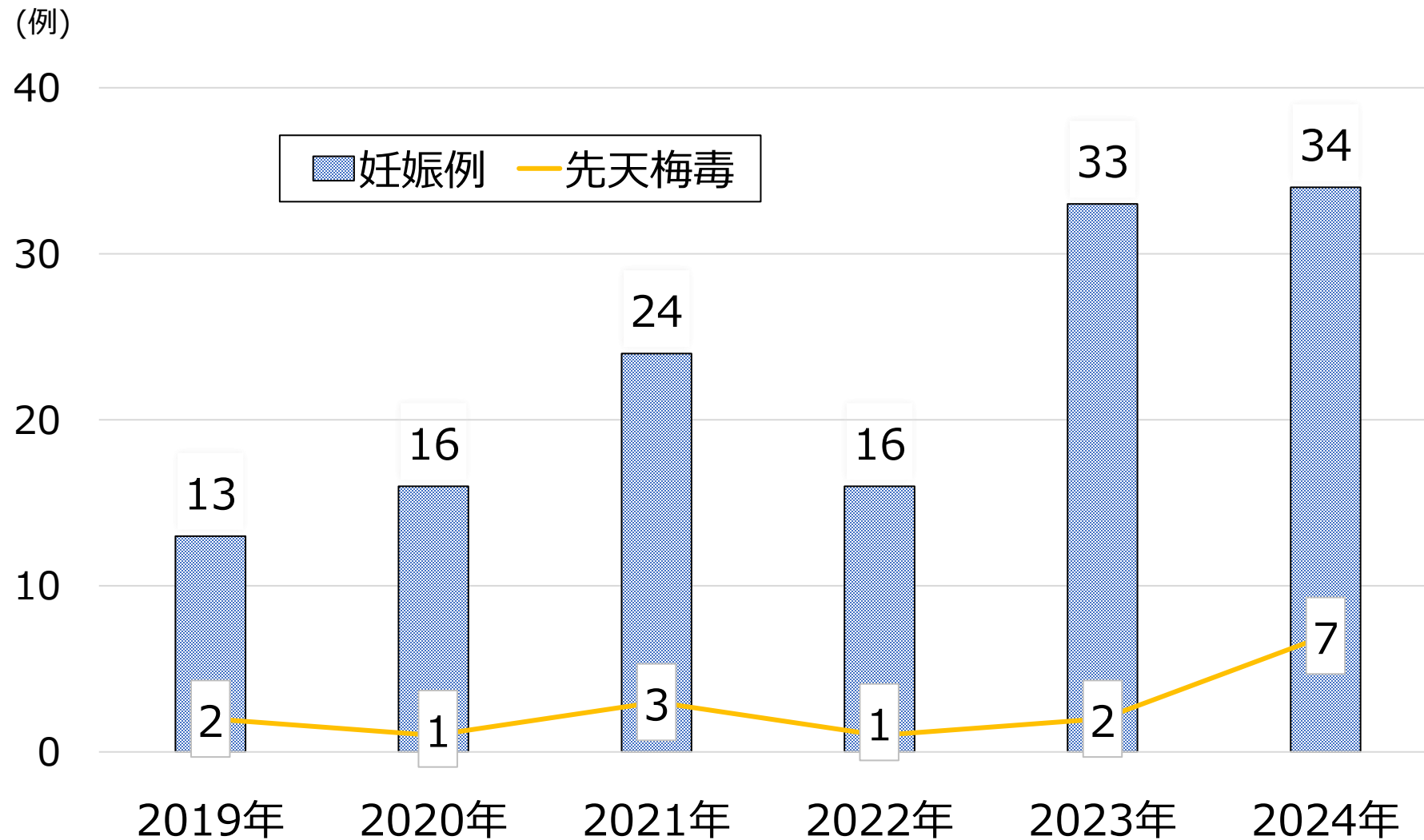
2024年 (n=1539)



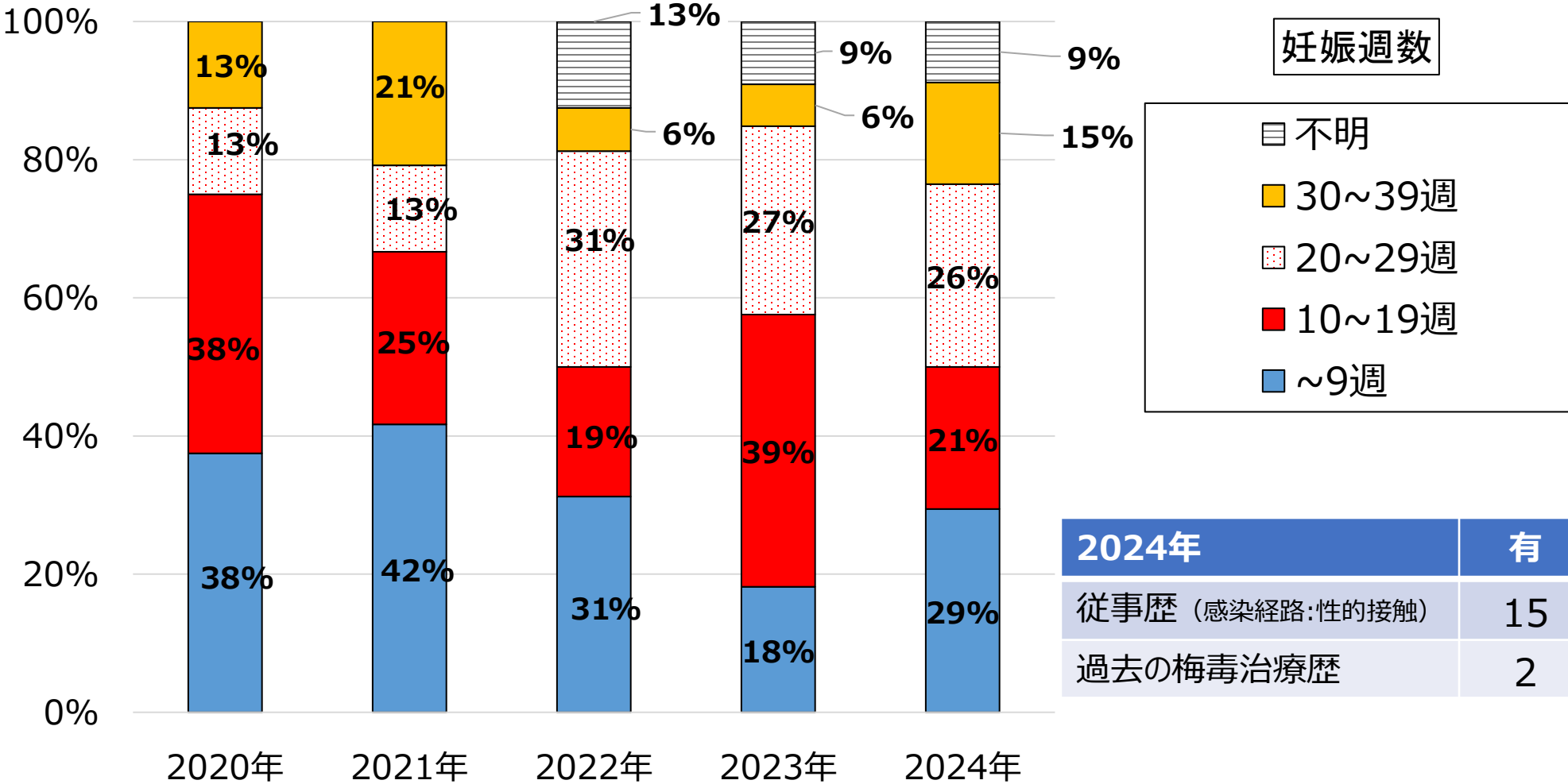
(届出数)	「MSM」 の男性	「MSM」 以外の男性	女性
不明	32	391	388
なし	37	199	450
あり	31	10	1
合計	100	600	839

※MSM：感染原因・感染経路において男性同性間の性的接触のもの

妊娠例及び先天梅毒届出数推移（2019-2024年）



妊娠「有」症例の診断時妊娠週数別割合（2020-2024年）



2024年	有	無	不明
従事歴（感染経路:性的接触）	15	10	9
過去の梅毒治療歴	2	28	4

2024年発生届出数上位医療機関

【男性】

n=700

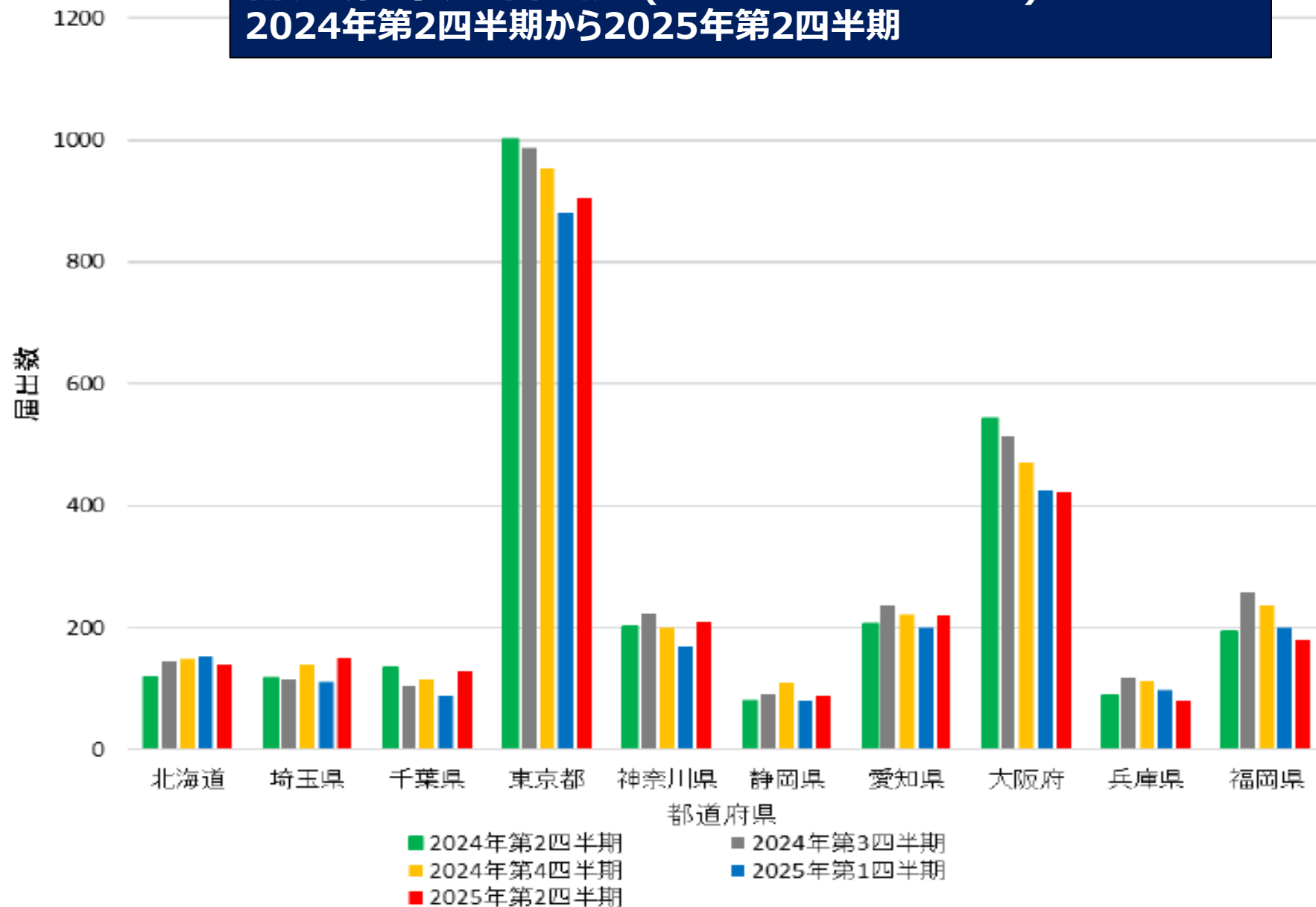
	診療科	区	届出数
診療所A	泌尿器科	北区	67
診療所B	泌尿器科	北区	56
診療所C	泌尿器科	中央区	45
診療所D	婦人科・内科	北区	43
診療所E	腎泌尿器科	西区	35
診療所F	泌尿器科	都島区	32
病院A	-	都島区	29
診療所G	婦人科・内科	中央区	27
診療所H	泌尿器科	北区	26
診療所I	泌尿器科	北区	23

【女性】

n=839

	診療科	区	届出数
診療所G	婦人科・内科	中央区	249
診療所J	婦人科・内科	中央区	117
診療所K	婦人科・内科	北区	95
診療所L	婦人科	中央区	28
診療所M	婦人科	中央区	22
診療所N	婦人科	中央区	20
病院A	-	都島区	16
診療所D	婦人科・内科	北区	13
診療所O	皮膚・形成外科	中央区	12
診療所A	泌尿器科	北区	10

都道府県別届出数(届出数上位10位を抜粋) 2024年第2四半期から2025年第2四半期



大阪府内発生状況 2024年第1四半期から2025年第2四半期

